

登録コード	L2970100	開講年度	2026				
担当教員	降旗 一彦			副担当			
授業科目	現代職業論						
英文授業名	Modern Careers						
授業タイトル	就職活動のためのキャリアデザインと職業選択						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2021Lカリ、2020Lカリ						
	【2022年度以前が対象】変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力				・経済社会や産業・企業動向の変化を注視し、将来にわたる自己のライフキャリアを形成していくための主体的な態度や知識を身に付け、就職活動と職業選択に活かす。 ・働く上で必要となる「社会人基礎力」を理解し、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を学ぶ。		
	【2022年度以前が対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー				・学生生活や就職活動において、客観的で偏りのないメディアの接し方を身に付ける。 ・メディアの特性を理解し、適切で効果的な情報収集や活用方法を学ぶ。		
	【2022年度以前が対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー				・「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」といった対人関係におけるコミュニケーションスキルを培う。		
授業で学べる「テーマ」	キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	講義・ケーススタディ・個人ワーク・グループワーク・発表を組み合わせたアクティブラーニング形式により、「職業(労働)観」、「キャリアデザイン」「社会人に必要な基本的知識、態度、スキル」を学ぶ。働く上で必要となる「社会人基礎力」のセルフチェックを行い、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を学ぶ。 就職活動に不可欠な肯定的な自己理解と自己PRの表現力を身に付ける。 経済社会、企業社会の変化、それに伴う経営組織や雇用管理手法などのあり方を探求し、具体的な理解を深め、人生と働き方の問題意識を醸成する。 就職活動における「基本的態度」、「インターンシップ」、「業界・企業・職業などの分析・研究と選択」、「自己PR」などの手法」などを学ぶ。 「コミュニケーション」の概要を学び、学生生活で修得しておきたい社会的スキル・マナーなどを身に付ける。 社会人（企業の職業経験者）の特別講義により、個人のケーススタディに触れ、リアルな進路選択を考える。 ・担当教員が企業およびコンサルタントの実務経験を活かして講義を行います。						
授業計画	第1回 「オリエンテーション」～働くとは何か?人文科学をどう活かすか?～ 第2回 「キャリア・デザイン」～働く現場での偶然をキャリア形成に活かす（Planned Happenstance）～ 第3回 「自分の価値を活かすキャリアの戦略的プランニング」～キャリア・アンカーをキャリアデザインに活かす～ 第2回、3回について「中間レポート」提出。 第4回 「キャリアを築いていくための能力」～コンピテンシーと社会人基礎力とは～ 第5回 「社会人基礎力1」～前に踏み出す力～ 第6回 「社会人基礎力2」～考え抜く力～ 第7回 「社会人基礎力3」～チームで働く力、自己の強みと課題を知る～ 第4回、5回、6回、7回について「中間レポート」提出。 第8回 「業界研究」～就職活動のための業界研究～ 第9回 「企業研究」～就職活動のための企業研究～ 第10回 「労働者を取り巻く働き方の現状」～企業の経営管理、人事管理～ 第8回、9回、10回について中間レポート提出。 第11回 特別講義「私の仕事」（未定）ゲスト講師 企業職業経験者						

授業計画	ゲスト講師の都合で前後の授業日程に変更の可能性があります。 第12回 「就職活動の準備」～「job tag」の活用と職業選択～ 第13回 「インターンシップの目的」～経験学習・課題解決・情報収集～ 第14回 「コミュニケーションスキルとビジネスマナーを学ぶ」 第15回 期末レポート（70分）、授業アンケート（15分）
成績評価の方法	中間レポート30点（10点×3回）、期末レポート70点
成績評価の基準	・中間レポートの について、それぞれ対象となる授業主題について、基本的な理解がされている水準を「5点」として、「よく理解されている」を7点、「優れている」を10点とする。 ・期末レポートについては、「課題テーマ」について、「間違いなく論じられている水準」を50点として、「論点が適切である」を60点、その上で「主体的な問題意識を持っている」を70点とする。
事前事後学習の内容	・授業のはじめに、日々メディア等に取り上げられた経済・産業社会のトピックスを取り上げて、問題意識を共有する。 ・授業の主題にかかわる参考図書などを提示し、事前・事後学習を促す。
履修上の注意	授業期間中のレポートをAIで作成することは不可です。
質問、相談への対応	メールでも質問、相談を受け付けます。 kaz32730@yahoo.co.jp
教科書	授業毎に、レジュメを配布する。
参考書	『文学部の逆襲』江頭亮(2021年筑摩書房)、『その幸運は偶然ではないんです！』ジョン・D. クランボルツ(2024年ダイヤモンド社)、『キャリア・アンカー』エドガーH.シャイン(2023年白桃書房)、『キャリア・サバイバル』エドガーH.シャイン(2023年白桃書房)、『キャリア・デザイン・ガイド』エドガーH.シャイン(2023年白桃書房)、『わかる社会人基礎力』島田恭子(2024年誠信書房)、『job tag』(厚生労働省職業情報提供サイト)